

クランクベイトの自作5 - ワイヤースレームの作製 -

1 はじめに

前はブランクの型の作製でした。今回は、ワイヤースレーム(ラインアイとフックアイ)の作製です。マスが掛かったときに、ラインアイやフックアイがブランクから抜けてしまわないように、一体型にします。

2 ワイヤースレームの作製

ラインアイとフックアイが一体となったワイヤースレームを作ります。

① ラインアイとフックアイの間隔を固定するための道具を作る

ラインアイとフックアイの間隔を一定にするための道具を作ります。自作ルアーをたくさん作らないときは不要です。私の場合は、ある程度、量産したいと思っているので、作りました。

厚さ12mm(百円ショップで購入)の板に、必要な長さの間隔で釘を立てます。実際のところは、必要な長さの間隔で四ツ目錐で穴を開けてから釘を打ちます。板が割れないように、釘がまっすぐ入るようにするためです。写真は、中央の穴から間隔が異なる所に穴を開けています。計算通りの間隔で釘が立たないからです。まっすぐに穴が開かない場合もあります。必要な長さ前後を1mm間隔で穴を開けました。



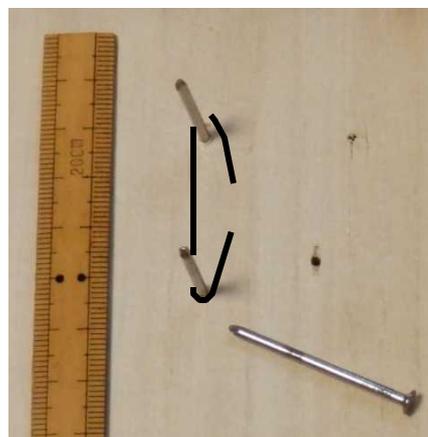
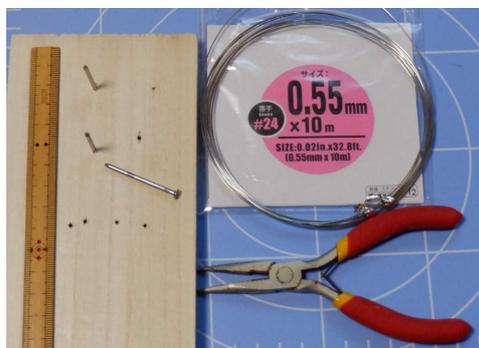
ちょうど良い間隔のところを釘を刺しておきます。



② 作製した道具に針金を巻きつける

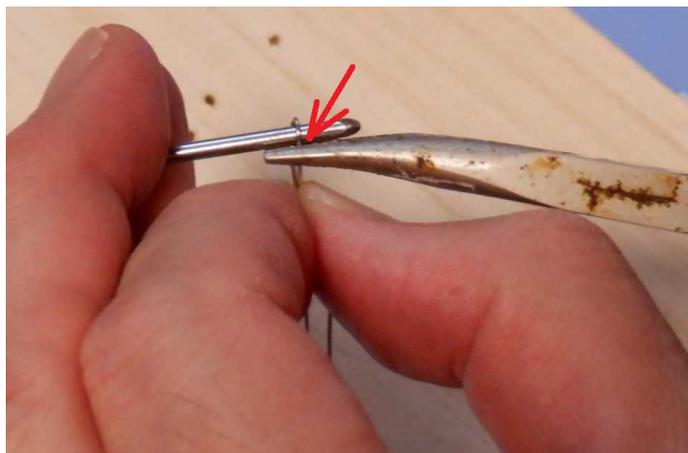
百円ショップでステンレスの針金を購入しました。0.55mm×10m 番手#24 100円です。

長さ6cmで針金を切ります。ラインアイ・フックアイを付けている所に目安にして、作製した道具の釘に巻きつけます。それぞれのアイを作るのではなく、アイの位置を決めるために巻きます。



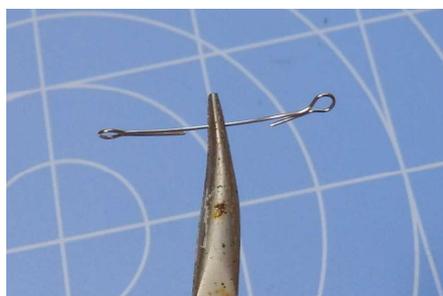
③ アイを作る

左手の親指と人差し指で針金を持ちます。中指と薬指で釘を持ちます。写真を参考にしてください。先曲がりのペンチで写真の矢印のところを強く締めます。すると、ペンチが釘のカーブにそって滑り、丸いアイができます。ペンチの先を釘の上を滑らせるイメージで作ります。両サイドにアイを作ります。

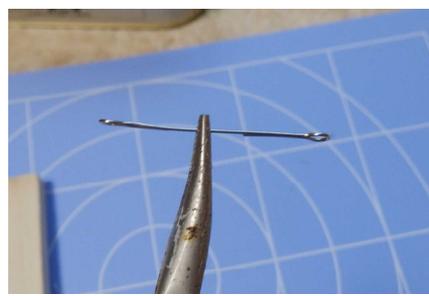


④ フレームやアイがまっすぐになるよう調整する

フレームやアイがまっすぐになるように調整します。ペンチでアイをつまんで、手で針金を曲げたり、ひねったりを繰り返し、まっすぐになるようにします。



→



⑤ ワイヤーフレームの端を曲げる

ワイヤーフレームの端を曲げます。ワイヤーフレームが直線になっていると、抜けてくることがあります。また、端を曲げる向きは同じ向きにします。左右のブランクを合体させるとき、ワイヤーフレームがずれないようにするためです。

まず、ワイヤーフレームの端をペンチで挟みます。ペンチで挟んだわきのところを親指で強く押して、直角になるようにします。反対側も同様に行います。



→



3 終わりに

図面通りにはなかなかできません。ワイヤーフレームの長さは、ブランクの型に合わせながら、いくつも釘の穴をあけて、試行錯誤しながら完成させるというのが実際でした。ルアーを量産しなければ、ラインアイとフックアイの間隔を決める道具を作る必要はありません。

次回は、おもりについてです。